

伝言板

小児科救急医療病院の輪番体制が変わります
 狭山市・入間市・所沢市では、3つの病院が、夜間と休日、小児の急患の診察に輪番制で対応しています。4月から、日曜日と月曜日の18時から翌朝8時までを担当する病院が不在となります。担当病院が決まるまで、埼玉県救急医療情報センターで受診可能な医療機関をご案内します。この時間に小児科医にかなければならぬ状況になったときは、埼玉県救急医療情報センター(☎048 824 4199)にご連絡ください。

なお、狭山市内の救急指定医療機関などは、毎月10日発行の広報さやまをご覧ください。救急指定医療機関は、狭山市公式ホームページにも掲載しています。
 問い合わせ健康推進課へ☎956 8050
 狭山市公式ホームページ<http://www.city.sayama.saitama.jp/>

防災一口メモ

狭山市の備蓄体制
 市では、万が一の災害に備え、避難所である小・中学校を中心に小型備蓄倉庫(27か所)とこれを補完する大型備蓄倉庫(4か所)を設置し、生活必需品などを備蓄しています。このほか、いるま野農業協同組合、(株)マイカル、(株)マルエツ、(株)西友、(株)ヤオコーなどの企業と、生活必需物資の供給に関する協定を締結し、万が一の災害に備えています。

市の主な備蓄品は次のとおりです。
 ▶アルファ米などの食糧(約5万食分)▶毛布(約9千枚)▶仮設用トイレ(80基)▶大人・子ども用下着(約2万1千セット)▶高齢者・乳幼児用紙おむつ(約4万枚)▶生理用品(約5万9千個)▶トイレトーパー(約11万ロール)など
 皆さんも、3日分の水や食糧、ラジオ、懐中電灯、医薬品などの通常の備蓄品のほかに、上記の備蓄品を参考にしてそれぞれのご家庭で必要な物を話し合い、災害への備えを万全にしましょう。
 問い合わせ交通防災課へ内線3695

消防本部からの報告

2月の火災件数5件(建物2件、車両1件、その他の火災2件) 救急出動件数434件 搬送人員416人

人口と世帯 3月1日現在。()内は前月比

	住民基本台帳人口	外国人登録人口
男	81,758人(+17人)	792人(-4人)
女	78,633人(+6人)	948人(+18人)

合計	160,391人(+23人)	1,740人(+14人)
世帯	60,818世帯(+33世帯)	1,363世帯(+7世帯)

住民基本台帳法に基づく年齢別人口

14歳以下	21,503人(13.41%)
15歳~64歳	116,323人(72.52%)
65歳以上	22,565人(14.07%)

4月 狭山ケーブルテレビ

☎0120-340-379 ☎956-5630
 e-mail: ch9@staff.s-cat.ne.jp
<http://www.s-cat.ne.jp>

みんな茶やま▶狭山市ホットインフォメーション(市役所からのお知らせ、字幕付)▶自治会の時間▶すこやか体操▶は~いお手紙です
 ちゃっぴいアワー▶ニュース▶ウイークリーニュース▶サポートねっと(統一地方選挙情報、ささえあい13年、WAVE・商工会議所からのお知らせ、新茶の季節到来ほか)▶地域経営者▶特集(ご存じですか?くじ付名刺、人物紹介、健康ボウリングほか)▶いろいろたの昔ばなし「射留魔のテント山」
 ちゃっぴい撮影隊▶「ケーブルテレビ衛星機構番組コンクール応募作品」を再放送します▶特別番組「埼玉県政を考える」出演・埼玉県議会議員立候補予定者(3月28日~4月3日)▶「狭山市政を考える」出演・狭山市議会議員立候補予定者(14日~19日)▶コア技術展示交流会パ・ト2・IT関連企業によるプレゼンテーション(1日~7日)▶講演「続・粗食のすすめ」(20日~28日)
 野村の自由学校▶「語りかける人形たち」拝見・吉徳コレクション(山田徳兵衛氏)

4・5月は「みんな茶やま」の中で、まちの話題や投稿映像(5分以内)などをご紹介します。編集済みのテープと紹介文をお持ちください。

お・茶・香・る・ま・ち

SAYAMA CITY
さやま

狭山市広報・お知らせ版 VOL.381
 発行日/平成15年3月25日(毎月10・25日発行)
 発行/狭山市 編集/狭山市総合政策部広報課
 〒350 1380 埼玉県狭山市入間川1 23 5
 ☎042 953 1111(内線7162) ☎042 954 6262
 テレホンガイドさやま☎0120 460 380
 ホームページ <http://www.city.sayama.saitama.jp/>

編集後記

日ごとに暖かさが増し、自然界に春の色が濃くなってきています。もうすぐ4月。進級、進学、そして新社会人へとステップアップする人が誕生する、希望に満ちた新しい出会いの季節です。

さて、毎月10日と25日に皆さんにお届けしている「広報さやま」は、昨年の秋から文字を大きくし、見やすい紙面作りを心掛けてきましたが、次にお届けする4月10日号から紙面全体をリニューアルすることとなりました。今回のリニューアルでは、市から情報を発信するだけでなく、市民皆さんに紙面に登場していただくことで、まちづくりに参加していただけるような新しいコーナーも設ける予定です。また、今後いろいろなイベントや事業などに取材でおじゃまします。取材先での皆さんとの出会いを大切に、より親しみやすい、分かりやすい紙面作りに取り組んでいきますので、これからも「広報さやま」をよろしく願います。 (90)